

教科書十四ページ「見えないだけ 牟礼慶子」

☆単元名「なぜ二年の教科書に『見えないだけ』が載っているのか。」

「読むことイから  
登場人物の言動の意味などについて考  
えたりして、内容を解釈すること。」

☆この問い「単元名」を解決するためには、どのように考えていったらいいだろう。



◇この詩のよさ・魅力を考えていいのでは。

📖課題②③

◇この詩に使われている表現技法などを分析したらどうだろう。

👉知識・技能

◇この詩で作者がいたいことは何か自分に置き換えて考えたらどうだろう。

📖課題①

◇他の作品と比較したらこの詩の内容がとらえられるのでは。

📖アイズ・フナエツの学習で

これまで  
の詩の学  
習を思い  
出そう。

◇声に出して読んでみると違うことに気づけるのではないか。

📖課題②

課題① 「見えないだけ」という言葉に着目し、「見えないだけできつとあるもの」を枠の中に収まるように

できるだけたくさん書き出そう。

見えないだけできつとあるもの



「勇気」や「後悔」なんてどうだろう。



手に取る「  
こと」のできな  
いものをあげてみよう  
かな。

課題②この詩の内容を読み取り、その魅力を考えたい。



まずは、声に出して読んでみよう。大きな声でというよりは、

言葉をかみしめながら声に出したい。それができたら、

「ここは、『詩だから』わざわざこういう書き方がしてあるんだな。」

「こう表現することでこんな思いを込めたかったんじゃないかな。」

といった『気づき』や『読み取り』をできるだけたくさん書き込もう。線を引いたり矢印や

吹き出しなどを使うとよい。学習のポイント④は「言葉に着目し、分析する視点をもつこと」



一つ目のまやまり「第一連」と二つ目のまやまり「第二連」では内容が異なるよ。文章で言つて、「はじめなか・おわり」  
の「はじめ」が題名で、第一連が「なか」、第二連は「おわり」にあたるって感じた。

見えないだけ

牟礼慶子

空の上には

もっと青い空が浮かんでいる

波の底には

もっと大きな海が眠っている

胸の奥で

ことばがはぐくんでいる優しい世界

次の垣根で

蕾をさし出している美しい季節

少し遠くで

待ちかねている新しい友だち

あんなに確かに在るものが

まだここからは見えないだけ

「明日」 谷川俊太郎

ひとつの小さな約束があるという  
明日に向かって  
ノートの片隅に書きとめた時と所  
そこで出会う古い友だちの新しい表情  
ひとつの小さな予言があるという  
明日を信じて  
テレビの画面に現れる雲の渦巻き  
〈曇のち晴〉天気予報のつましい口調  
ひとつの小さな願いがあるといつ  
明日を想って  
夜の間に支度する心のとちめき  
もう耳に聞く風のささやき川のせせらぎ  
ひとつの小さな夢があるという  
明日のために  
くらやみから湧いてくる未知の力が  
私たちをまばゆい朝へと開いてくれる  
だが明日は明日のままでは  
いつまでもひとつの幻  
明日は今日になつてこそ  
生きる事ができる  
ひとつのたしかな今日があるという  
明日に向かって  
歩き慣れた細道が地平へと続き  
この今日のうちにすでに明日はひそそびてくる

見えない季節 牟礼慶子

でせるなら  
日々のくらしを土の中のくらしに  
似せてはいけなくてしょつか  
地上は今  
ひどく形而上的な季節  
花も紅葉もぬぎすてた  
風景の枯淡をよじとする思糧もありますが  
ともあれ ぐっしり土の中では  
やがて来る華麗な祝祭のために  
数かぎりないものたちが生きているのです  
その上人間の知恵は  
触れればくずれるチューリップの青い芽を  
まだ見えないうちにみえ  
春だとも未来だともよびいじどがむねのどす

ぼくが ニジニ まじみちお  
ぼくが ニジニ いるとき  
ほかの どんなものも  
ぼくに かさなつて  
ニジニ いるじよは じきになつ  
もしも ゾウが ニジニ いるならば  
そのゾウだけ  
マメが いるならば  
そのニジみの マメだけ  
しか ニジニ いるじよは じきになつ  
ああ ニのちきゆつの うねどほ  
こんな に だいじに  
まもられているのだ  
どんなものが ぐんやうじよに  
いるときにも  
そのニのちきゆどが  
なににも まつて  
すばらつじよに じよに

## 自己評価をしましょう



この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの・皆さんの理解度や疑問を知るための、先生の評価とは関係ありません。

課題① 題名にちなみ「見えないもの」について自分なりにいくつも考えられたか。

十分に	まずまず	自信がないが	できなかった。
できた。満足。	できた。	なんとかできた。	

なにかあれば

【一言コメント

】

課題② 詩からの気づきや読み取ったことを、いくつも書き出すことができたか。

十分に	まずまず	自信がないが	できなかった。
できた。満足。	できた。	なんとかできた。	

なにかあれば

【一言コメント

】

課題③ 魅力だと思うことを一つ取り上げ、他者に伝えるために書けたか。

十分に	まずまず	自信がないが	できなかった。
できた。満足。	できた。	なんとかできた。	

なにかあれば

【一言コメント

】

学習を終えて、分からないこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。



課題③ 課題②で取り上げたことのなかから、この詩の魅力だと思うことを一つ選び、なぜそこが魅力だと思えるのかを他者に伝えるつもりで書こう。必ず、詩の中の表現を取り上げ、そこからどんなことが伝わってくるのか、を取り入れて、魅力が伝わるように書くこと。字数については特に指定しない。